

「ヨハネの福音書は、何世紀にもわたって神の民の心を祝福してきました。この福音書は『神からこの世へのラブレター』と呼ばれています。」

○ヨハネの福音書：三つの質問

1. ヨハネの福音書を記したのは一体誰か？ 著者_____

▶「イエスが愛された弟子」

※ヨハネ 13:23

「弟子のひとりで、イエスが愛しておられた者が、イエスの右側で席に着いていた。」

※ヨハネ 19:26

「イエスは、母と、そばに立っている愛する弟子とを見て、母に「女の方。そこに、あなたの息子がいます」と言われた。」

※ヨハネ 20:2

「それで、走って、シモン・ペテロと、イエスが愛された、もうひとりの弟子とのところに来て、言った。「だれかが墓から主を取って行きました。主をどこに置いたのか、私たちにはわかりません。」」

※ヨハネ 21:7

「そこで、イエスの愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」すると、シモン・ペテロは、主であると聞いて、裸だったので、上着をまとって、湖に飛び込んだ。」

※マルコ 3:17

「ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ、このふたりにはボアネルゲ、すなわち、雷の子という名をつけられた。」

※ルカ 9:51-53, 54

「さて、天に上げられる日が近づいて来たころ、イエスは、エルサレムに行こうとして御顔をまっすぐ向けられ、ご自分の前に使いを出された。彼らは行って、サマリア人の町に入り、イエスのために準備した。しかし、イエスは御顔をエルサレムに向けて進んでおられたので、サマリア人はイエスを受け入れなかった。」

「弟子のヤコブとヨハネが、これを見て言った。「主よ。私たちが天から火を呼び下して、彼らを焼き滅ぼしましょうか。」

※マルコ 9:33-35

「カペナウムに着いた。イエスは、家に入った後、弟子たちに質問された。「道で何を論じ合っていたのですか。」彼らは黙っていた。道々、だれが一番偉いかと論じ合っていたからである。イエスはおすわりになり、十二弟子を呼んで、言われた。「だれでも人の先に立ちたいと思うなら、みなの子となり、みなに仕える者となきなさい。」

※マルコ 10:35-37

「さて、ゼベダイのふたりの子、ヤコブとヨハネが、イエスのところに来て言った。「先生。私たちの頼み事をかなえていただきたいと思います。」イエスは彼らに言われた。「何をしたいのですか。」彼らは言った。「あなたの栄光の座で、ひとりを先生の右に、ひとりを左にすわらせてください。」

2. ヨハネの福音書が記されたのはいつか？ 紀元後_____

※使徒 12:1-2

「そのころ、ヘロデ王は、教会の中のある人々を苦しめようとして、その手を伸ばし、ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。」

3. ヨハネの福音書が記されたのはなぜか？ _____

※ヨハネ 20:30-31

「この書には書かれていないが、まだほかの多くのしるしをも、イエスは弟子たちの前で行われた。しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。」